

式 辞

本日、令和 5 年度第 2 学期卒業証書・学位記授与式並びに令和 6 年度第 1 学期入学者の集いを挙げていきますことは誠に喜ばしい限りです。学部卒業生並びに大学院修士課程修了生の皆様のご卒業・ご修了を心よりお祝い申し上げます。また、4 月より放送大学で学び始められる入学生を大いに歓迎いたします。

令和 5 年度第 2 学期の放送大学宮崎学習センター所属の教養学部卒業生は 27 名です。卒業される一人一人の皆様のたゆまぬ勉学への意欲と日々の精進が、ご卒業に結実しました。

なお、都城リハビリテーション学院との連携協定によるダブルスクール制度での放送大学卒業生が別に 13 名おられます。これらの方には、都城リハビリテーション学院の卒業式で放送大学の学位記・卒業証書の授与を既に済ませています。

教養学部の異なるコースを複数回に亘って卒業されます方がかなりの人数おられます。継続して生涯学習に取り組まれている姿勢に感服しています。ご卒業の皆様は今回の卒業で終わることなく、さらに別のコースに再入学して学んで、最終的には教養学部 6 コースをすべて征服して「名誉学生」の称号授与を目指していただければ幸いです。学び続けることこそ、いつまでも心の若さを保つ秘訣です。

宮崎学習センター所属の大学院生で、令和 5 年度第 2 学期に修士課程を修了される方が 1 名いらっしゃいます。修士（教養）の学位の取得、誠におめでとうございます。ご多忙な仕事や生活の時間をやり繰りして、修士論文研究に取り組まれた強い意志とご努力に敬服いたします。修士課程で学ばれたご経験は、必ずやこれからの人生の糧になるはずです。

宮崎学習センター学生表彰規程に則り、後ほど、優秀学生を表彰いたします。「卒業又は修了時において特に優秀な学業成績を修めた、または、学生活動等で顕著な功績を残したと認められる学生」として、学部卒業生 9 名と大学院修士課程修了生 1 名に優等生賞「ひ

まわり賞」を授与します。また、「教養学部で2コース以上を卒業された学生」を学習奨励賞として表彰します。4コースを終えられた1名に「サファイア賞」を、2コースを終えられた3名に「パール賞」を授与します。

宮崎学習センターの令和6年度第1学期の教養学部入学生は128名です。内訳は、全科履修生が34名、選科および科目履修生が94名です。大学院修士課程には、修士全科生に3名が、修士選科生および科目生として13名が入学されます。皆様のご入学をお慶び申し上げます。ぜひ入学した今の初心を忘れることなく、学習目標の達成に向けて日々精進してください。

「人生100年時代」は、ロンドン・ビジネススクールの教授リンダ・グラットンの2016年発売の著書「LIFE SHIFT ――100年時代の人生戦略」がベストセラーになって広がりました。健康寿命が延びた現在では、退職後を余生と言っていた昔と違い老後観は「できる限り働き、最後まで生き生き生きる」に変化しています。20代の方はこれから70年以上の長い人生が、60代の方でも30年以上の今後の人生が待っています。どのように「生き生きと生きる」かが大事になっています。

東京大学名誉教授で解剖学者の養老 孟司氏は「変わっていくこと、それが学ぶということ、知るということ。自分が変わっていなかったら、何も学んでいないと思えばいい」と述べています。「生き生きと生きる」とは「同じ自分に止まらず、幾つになっても変わり続けられる」ことかもしれません。つまり、生涯にわたって好奇心を持って学び、体験することが、心の若さを保ち、自分が変わっていくことに繋がるのだと思います。皆さんもリカレント（生涯学習）やリスキリング（仕事の場での能力・技術の学習）を継続して、年を重ねても変化し続けられる人になってください。最後に本式典にお集まりいただいたすべての皆様に改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

令和6年3月24日

放送大学宮崎学習センター所長
松下 洋一